

議 会 だ よ り

笑顔のために



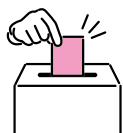
目次 CONTENTS

- 01 表紙
- 02 目次
- 03 **あなたにスポットライト！**
富士宮市非出資漁業協同組合
- 04 **1月臨時会・2月定例会の議決結果**
45件の議案について審議
- 06 **代表質問**
令和8年度富士宮施政のここが知りたい！！
- 08 **令和8年度予算**
過去最大621億円 22人は、何を想うのか
- 12 **議会運営委員会／常任委員会**
- 13 **一般質問**
18人の議員が市政を問う
- 22 **6月定例会の予定／議員の寄附行為の禁止について**
- 23 **議長コメント／政務活動費／議長交際費**
- 24 **議会だより編集委員会記事／編集後記**

議会だよりの編集と発行は、議会だより編集委員会が行っています。
委員長…仲亀恭平
副委員長…村瀬旬
委員…近藤千鶴、平下尚己、
山藤陽子、稲葉晃司

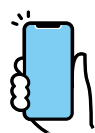
8月10日(月) 10:00～11:30 開催！夏休み親子議場見学会のご案内

申込期間：6月24日(水)～7月13日(月)
対象：市内在住の小学5・6年生とその保護者
定員：10組(先着順)
参加費：無料
申込方法：電子申請



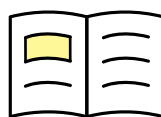
あなたの声をお待ちしています

議会での質疑や議会だよりの内容等について、ご意見お待ちしております。



議会をネットでみよう

本会議のインターネット映像(ライブ・録画)を配信しています。



議会だより電子版

富士宮市ホームページから、議会だより電子版(PDF版)を見ることができます。



LINE友だち追加

市公式LINEにて、議会に関する情報を発信しています。





きれいな川を次世代へ「マスの川」を守り継ぐ

(平成21年6月1日、富士宮市は「市の魚」にじますを制定。)

【あなたにスポットライト！第5回】
議会だより編集委員会が市民の本音に迫るインタビュ企画。今回は、富士宮市非出資漁業協同組合(以下、漁協)の高野さんにスポットを当てました。事業の内容や活動に込めた熱い想いを伺います。

これまでの歩みについて教えてくださいませんか

高野氏 創立は昭和26年です。昭和38年に現在の「富士宮市非出資漁業



▲富士宮市非出資漁業協同組合 組合長 高野 孝雄 氏

協同組合」という名称になりました。当時から続く「ますつり大会」は、富士宮に春を告げる行事として親しまれ、回数は76回を数えます。

「ますつり大会」の熱気あふれる盛り上がりは今も鮮明に覚えています

高野氏 昔は前夜から火を焚いて場所取りをする人がいるほど、全国から1000人以上が集まる大イベントでした。時代は変わり、レジャーの多様化や釣り人の高齢化に伴い参加人数は変わりました。しかしながら、今でも募集が始まればすぐに定員が埋まるほど、非常に人気の高いイベントです。富士宮の春を告げる風物詩として、これからも多くの方



▲令和8年3月開催 ますつり大会



▲インタビューの様子

にこの喜びを届けていきたいですね。こどもたちが実際に魚と触れ合う「親子マス釣り教室」について教えてください

高野氏 釣りの普及のため、17回ほど開催しています。最近では、魚をスーパーの切り身でしか知らない子どもが多いのには驚かされます。親子マス釣り大会で魚が掛かった瞬間、こどもたちは驚きと喜びに目を輝かせ、夢中になって楽しんでますよ。川の環境を守る保全活動について教えてください

高野氏 神田川の清掃事業を市から委託され、年6回実施しています。空き缶を拾い、護岸の草を刈る。良い釣りを楽しんでもらうには、まず川が綺麗でなければなりません。最近ではカワウによる被害や、豪雨による放流魚の流出など苦勞も絶えませ

んが、「やっぱりこの釣りはいいな」と言ってもらえる環境を整えることが一番だと思っています。

今後の展望についてお聞かせください
高野氏 組合員は現在20人ほどで、高齢化もあり存続は決して楽ではありません。しかし、漁協がなくなれば大会もできなくなってしまう。この文化を守り続けたいと考えています。

読者へメッセージをお願いします

高野氏 綺麗な川があつてこそ最高の釣りが楽しめます。この美しい神田川や潤井川の風景を次の世代へ。また、漁協の活動に協力してくれる若い仲間も募集しています。少しでも興味がある方は、ぜひ私たちの活動を覗きにきてください。



▲組合長高野氏と議会だより編集委員会

1月臨時会・2月定例会の議決結果

1月臨時会 議案審議

議案番号	件名	議決結果
報第1号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報告済
報第2号	令和7年度富士宮市一般会計補正予算(第5号)の専決処分報告について	承認
議第1号	令和7年度富士宮市一般会計補正予算(第6号)	全会一致 原案可決

2月定例会 議案審議

議案番号	件名	議決結果
報第3号	富士宮市土地開発公社の令和8年度事業計画の報告について	報告済
報第4号	公益財団法人富士宮市振興公社の令和8年度事業計画の報告について	//
議第2号	富士宮市天子の森条例を廃止する条例制定について	全会一致 原案可決
議第3号	富士宮市富士山天母の湯条例を廃止する条例制定について	//
議第4号	富士宮市手数料条例の一部を改正する条例制定について	//
議第5号	富士宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	//
議第6号	富士宮市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	//
議第7号	富士宮市環境基本条例の一部を改正する条例制定について	//
議第8号	富士宮市総合福祉会館条例の一部を改正する条例制定について	//
議第9号	富士宮市霊柩自動車使用条例の一部を改正する条例制定について	//
議第10号	富士宮市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	//
議第11号	富士宮市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	//
議第12号	富士宮市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について	//
議第13号	富士宮市上下水道事業運営審議会設置条例制定について	//
議第14号	市道路線の認定について	//
議第15号	令和7年度富士宮市一般会計補正予算(第7号)	//
議第16号	令和7年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	//
議第17号	令和7年度富士宮市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	//
議第18号	令和7年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	//
議第19号	令和7年度富士宮市水道事業会計補正予算(第3号)	//
議第20号	令和7年度富士宮市下水道事業会計補正予算(第2号)	//
議第21号	令和7年度富士宮市病院事業会計補正予算(第2号)	//
議第22号	令和8年度富士宮市一般会計予算	//
議第23号	令和8年度富士宮市北山財産区特別会計予算	//
議第24号	令和8年度富士宮市国民健康保険事業特別会計予算	//
議第25号	令和8年度富士宮市上井出区財産区特別会計予算	//
議第26号	令和8年度富士宮市猪之頭区財産区特別会計予算	//
議第27号	令和8年度富士宮市根原区財産区特別会計予算	//
議第28号	令和8年度富士宮市介護保険事業特別会計予算	//
議第29号	令和8年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計予算	//
議第30号	令和8年度富士宮市水道事業会計予算	//
議第31号	令和8年度富士宮市下水道事業会計予算	//
議第32号	令和8年度富士宮市病院事業会計予算	//
議第33号	富士宮市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	//
議第34号	富士宮市民文化会館リニューアル工事(電気設備工事)請負契約の変更について	//
議第35号	損害賠償の額の決定及び和解について	//
選第1号	公平委員会の委員選任に関し同意を求めることについて	同意
選第2号	公平委員会の委員選任に関し同意を求めることについて	//
選第3号	公平委員会の委員選任に関し同意を求めることについて	//
陳情第1号	東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	不採択
議決第1号	富士宮市議会議員の請負の状況の公表に関する条例制定について	全会一致 原案可決
議決第2号	地域医療を支える自治体病院の存続に向けた支援施策の実現を求める意見書の提出について	//

※報=市からの報告、議=条例・予算・契約などの議案、選=人権擁護委員候補者以外の人事案件、陳情=陳情、議決=議会からの議案の略。

※議案番号は、令和8年1月臨時会からの通し番号。

※詳しくは市議会事務局(電話22-1191)までお問い合わせください。

議第22号 令和8年度富士宮市一般会計予算

全会一致で可決

可決

賛成20人 反対0人



賛成討論 芦澤 秀典 議員

会派明和、公明会を代表して令和8年度一般会計予算に賛成します。

小中学校屋内運動場のエアコン設置は、こどもの安全確保と教育環境向上に資する重要な事業です。避難所機能の強化にもつながり、人口減少対策としても評価できます。



賛成討論 臼井 由紀子 議員

本予算は市民の安全安心の確保、子育て支援、福祉の充実、地域経済への配慮など市民生活に寄りそった施策が盛り込まれており評価する。一方、白糸自然公園整備事業は市民の理解や将来の維持管理費を含め慎重な検討を求めることとし賛成する。

陳情第1号 東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情

陳情は不採択

【陳情内容の概略】

市役所庁舎内で議員による政党機関紙の勧誘が無許可で行われたり、心理的圧力（パワハラ）を感じている職員がいるかどうかを調査して、確認された場合は市当局に適切な対応を求める陳情。

総務文教委員会での審査

陳情者は「同陳情の目的は、庁舎管理規則に違反しているかどうか、勧誘に伴うハラスメントがあるかどうか」と答えています。この2点について当局は「庁舎管理規則の許可を得ていること、勧誘に伴うハラスメントの意見は職員から出ていない」と述べています。これらのことから、同陳情は全会一致で不採択にすべきものとなりました。

不採択

賛成1人 反対19人



賛成討論 近藤 千鶴 議員

情報公開した「赤旗」の庁舎使用許可書では、販売時間が12時から13時までとなっています。使用目的の「勧誘」という表記は政治的な活動と受け取られる恐れがあり、許可条件の時間や指示が守られているか丁寧に確認する必要があります。



反対討論 渡辺 佳正 議員

政党機関紙の勧誘は庁舎管理規則の許可を得て行っており、職員からパワハラ之苦情はなく、機関紙の勧誘・集金が職員の業務に支障をきたしている事実はないことから、当局による調査は必要なく、同陳情を不採択にすべきと考えます。

【賛否が分かれた議案】

○は賛成。×は反対。

議案・結果	議員名 (議席番号順)	近藤千鶴	佐野和彦	仲亀恭平	平下尚己	赤池弘源	中野健太郎	齋藤和文	山藤陽子	稲葉晃司	臼井由紀子	岩村恵美	小松快造	辻村岳瑠	菅澤秀典	佐野寿夫	望月芳将	渡辺佳正	鈴木弘	植松健一	村瀬旬	諏訪部孝敏	佐野和也	賛成	反対	議決結果
陳情第1号 東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情		○	※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠席	×	1	19	不採択

※ 議長…議長は表決に加わりません。ただし、賛成、反対が同数の時は議長が決定します。



代表質問

令和8年度 富士宮施政のここが知りたい!!

代表質問について

毎年2月定例会に行われる、次年度の市長施政方針（※）の内容に対して、議会各会派から選ばれた議員1人が代表して質疑を行うことです。

富士宮市議会令和8年2月定例会では、5つの会派と、無会派から合計6人の議員が、各々の会派等を代表して質疑しました。

※ 施政方針（しせいほうしん）

次年度（今回の場合は、令和8年度）の基本方針や政策についての姿勢を示すため、市の長として行う方針演説のことです。

今回の施政方針内容は、右の二次元バーコードから確認できます。



新たに開始する5歳児健康診査について

問 5歳児健診実施に向け、新たに開始する本市独自の方式の詳細を伺う。

部長 令和8年度から実施する5歳児健康診査は「Webシステムを利用した問診による1次健診、その結果支援が必要な子どもへの専門医師による2次健診」を行う方式により実施。県内でこの健診をとる自治体は少なく、特にWebシステムを使った問診を行うのは県内で本市だけである。対象者は年中に相当する年齢の幼児。生年月日で春と秋の2回に分けて実施する。



子育て世帯への経済的支援の充実について

問 子育て世帯への重点支援策は何か。

部長 0歳から18歳までのこどもの通院や入院時の医療費を助成するこども医療費助成事業の継続、不妊・不育症治療費助成額の引上げ、産後ケア事業及び子育て応援ヘルパー等派遣事業の利用対象年齢の拡大。新たな事業として5歳児健康診査を始め、食事の提供などを通してこどもの居場所づくりを行う団体等への事業費の一部支援により、こどもが安心して過ごせる居場所の安定的な確保と活動の充実を図る。



つなぐ

仲亀 恭平

体育館にエアコン設置！3年で全校完了へ

問 屋内運動場へのエアコン設置、狙いは？

部長 熱中症・寒さ対策と避難所の環境改善が目的。3年間で全小中学校に設置する。

大幅拡充！不妊治療助成の上限100万円へ

問 拡充の狙いは？

部長 経済的負担を軽減し、不妊治療をする夫婦の希望を叶える。

上限を100万円
3分の2まで助成
保険診療外も対象
年間40件の妊婦実数

テニスコートをリニューアル！快適な環境へ…

問 テニスコート改修中の利用はどうか？

部長 代替施設（四中・民間施設等）を案内。



超党派虹の会
稲葉 晃司

（仮称）郷土史博物館について伺う！！

問 利用者説明会で出された意見は基本計画に反映されるのか、基本計画の策定期限は？

部長 きららの利用者から、現在よりも駐車場が減少することで代替駐車場では駐車場が遠くなったり狭くなったりするのではという、今よりも利用しにくくなる点について不安視するご意見を多くいただいた。いただいたご意見に対する対応案を示し計画に記載していく。また、基本計画の策定期限は令和8年度前半にしたいと考えている。



至誠

植松 健一

スポーツ交流事業について

問 ドリームバレーボールのイベントとは。

部長 メダリストや元日本代表によるドリームチームを7月に市民体育館に迎えて、バレーボール教室やフレンドリーマッチを開催する。

富士宮プリンなどの特産品について

問 開発及びブランド化の具体的な方法は。

部長 地域資源を明確に打ち出した基準づくりと官民連携によるブランド力の向上、そして事業者の挑戦を後押しする特産品開発付加価値向上推進事業費の補助を行う。



無党派
近藤 千鶴

学校の統廃合について

問 学校編成は痛みを伴う問題。市長自らが先頭に立って方向性を示すべき。市長の覚悟は。

部長 令和8年度に富士宮市立学校再編計画策定委員会を設け、学校再編計画を策定し、着実に進めていく。

デジタル化の推進について

問 若者にとってデジタル環境は暮らしやすさそのもの。どのように展開していくのか。

部長 富士宮市DX推進計画を定め、計画的に推進しているところ。

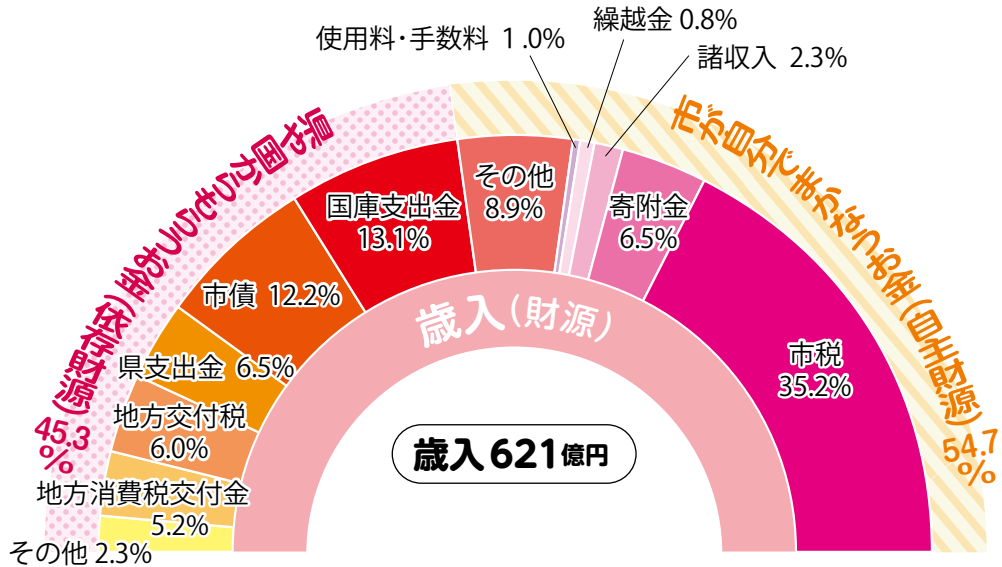
令和8年度 一般会計予算



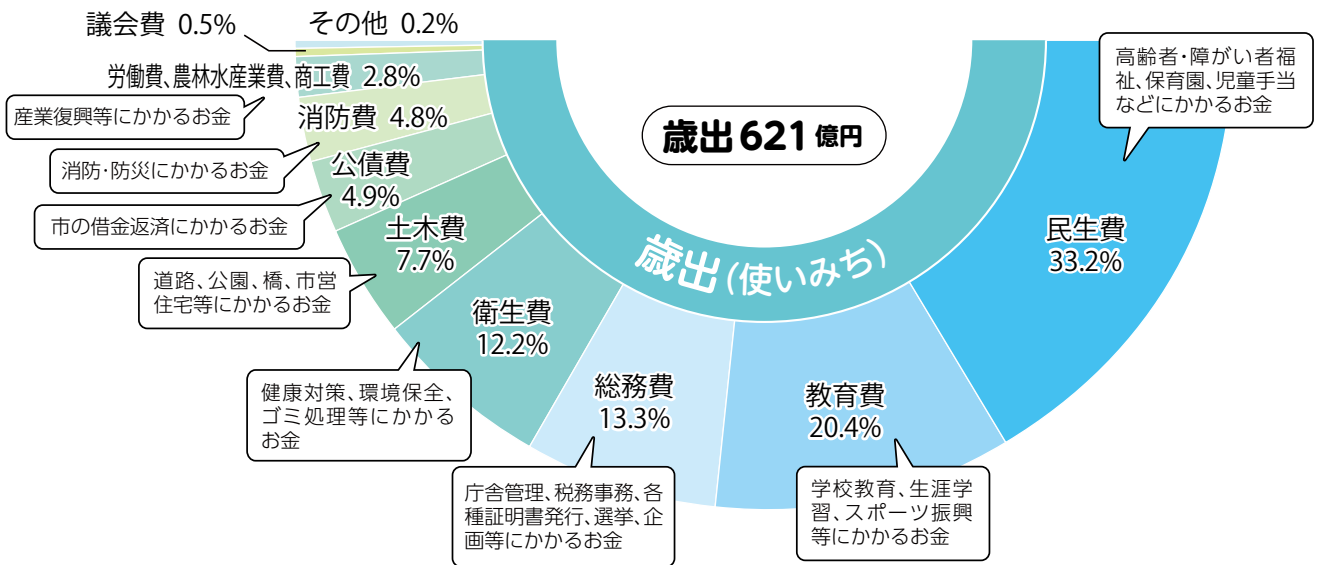
令和8年度富士宮市歳入歳出予算審査について（以下、令和8年度富士宮市一般会計予算）にフォーカスし市民の皆様にお伝えします。

歳入・歳出
6.2%
UP!

36億3000万円増



一般会計



令和8年度
一般会計予算
市民1人当たり
いくらの予算？

※令和8年4月1日人口
125,124人から算出

1人当たり
496,308円

総務費
65,961円



民生費
164,994円



教育費
101,126円



土木費
38,292円



労働費・農林水
産業費・商工費
13,963円



衛生費
60,711円



公債費
24,417円



消防費
23,593円



議会費
2,359円



過去最大621億円 22人は、何を想うのか

■巨大な予算規模に対して、議会が一丸となって精査しました

一問一答

① 621億円という数字を聞いた時、正直どう思いましたか？

② ズバリ！令和8年度の注目事業は？

③ どんな事業内容なのか？

(市民生活がどう向上するか？)



近藤千鶴

① ふるさと納税などの影響で予算規模は大きいですが、物価高で楽観視できない。

② 市民文化会館施設整備事業

③ 長寿命化改修、ユニバーサル視点の環境改善、リニューアル工事を行い利用者の安全、安心・快適性の向上を計る。



佐野和彦

① 膨らむ予算と進む続ける少子高齢化社会への担保。

② 関係人口創出事業

③ 急速に進む人口減少に歯止めをかけるため関係人口のつながりを増やし持続可能な地域づくりに寄与できることに期待。



仲亀恭平

① 一円の無駄も許さない。過去最大予算だからこそ、真剣に、厳しく挑む。

② 鳥獣被害防止総合対策交付金

③ 熊などの獣害から地域を守るため、緊急時の銃猟を強化。通年体制を整え、大切な農作物と市民の安全を支援する。



平下尚己

① 大きな予算だからこそ、市民に届く使い方が大切だと感じた。

② 外神東公園駐車場整備工事

③ 100台超の駐車場整備に加え、2つのバスケットゴールを設置し、幼児から大人まで集い楽しめる公園になる。



赤池弘源

① 増える予算、減る人口。この矛盾を市民と一緒に問い直したいと思った。

② 商工業振興事業「中心市街地実態調査」

③ 商店街の未来を描く事業！土地家屋の所有者へ貸与の意向を調査し、空き店舗の活用と街の活性化を図る。



中野健太郎

① 年々民生費が拡大し、財政の硬直化による政策的余力の縮小を懸念している。

② 市有林J-クレジット登録認証業務委託

③ 令和6年の一般質問で提案した森林資源の地域循環モデルが本格化！民間と連携して令和10年開始を目指す。



齋藤和文

① 物価高騰を考慮し、補助金の拡充や公共工事の予算を増額したのではと感じた。

② こどもの居場所づくり支援事業費補助金

③ 不登校児童生徒支援のために、市内にある居場所支援団体に対して、事業実施等に要する補助金を出す。

令和8年度予算



山藤陽子

- ①次世代を見据えた持続可能なまちづくりのために必要な予算である。
- ②防災教育・訓練事業
- ③令和8年3月改定された富士宮市総合防災マップ。新しい防災情報が満載。見やすく、わかりやすく解説されている。



稲葉晃司

- ①ハード部門の予算がかさんだ結果、一般会計は潜在的に500億強くらいか。
- ②高齢者団体等親睦会補助金
- ③市内に住む65歳以上の会員が3名以上の団体を対象に一人当たり3000円を上限に年一回親睦会費を補助する。



白井由紀子

- ①将来負担を見据え、立ち止まる視点も市民のために大切と考える必要がある。
- ②高齢者つながり・生きがい創出事業
- ③敬老会事業を見直し。自治会の負担軽減を図り、高齢者の居場所や生きがいづくりのための機会を創出する事業。



岩村恵美

- ①621億円予算、使い道の透明性とその効果が問われる。
- ②産後ケア・5歳児健康診査
- ③家事支援サービスの利用時間を拡大し、5歳児健診で早期に必要な支援につなげる体制を強化。

富士宮、過去最大621億円
予算に挑む！



小松快造

- ①過去最高額の予算、市民生活がどのように向上するのか期待する。
- ②担い手育成総合支援事業
- ③持続可能な農業を進めるためには人材育成と設備投資は不可欠である。少子高齢化が進む中、農業政策に期待する。



辻村岳瑠

- ①数字の大きさより、市民の実感に届く使われ方をしているか。それだけを見る。
- ②重層的支援体制整備事業
- ③介護・障害・貧困・孤立——複数の問題を抱えた市民を、制度の狭間に落とさず丸ごと支える体制を整える。



芦澤秀典

- ①規模の大きさに驚き、将来を見据えた重要な一歩となる予算だと思った。
- ②小中学校屋内運動場空調設備設置事業
- ③小中学校の屋内運動場にエアコンを整備し、猛暑時の学習環境の改善と避難所機能の強化を図る事業。



佐野寿夫

- ①物価高に対応し市民の期待に応えるには必要な予算額であり責任を痛感する。
- ②5歳児健康診査
- ③小学校就学前の5歳児の発達を総合確認し早期支援へつなげていく。富士宮市の次世代を担う宝への投資事業。



望月芳将

- ① 約20年前は、320億円だったんだよな～ 約2倍だあ！
- ② 焼却施設保全工事費
- ③ 清掃センターの焼却施設を約10年に一度、大規模修繕。負担と効果のバランスを考えていく必要を感じる。



渡辺佳正

- ① 総額の割に、物価高対策、中小事業者・賃上げ支援などに十分とは言い難い。
- ② 学校給食食材費負担金
- ③ 小学校の給食費が無償になる。義務教育は無償とする憲法の理念に沿って、中学校給食も無償にすべき。



鈴木弘

- ① 合併直後は370億円、コロナ禍の中で500億円後半、大きな政府への流れ。
- ② 合併処理浄化槽設置整備事業費補助金
- ③ 昨年度まで新設と切替が対象だったが本年度は切替のみが対象。5人槽で60万円の補助が108万円と増加した。



植松健一

- ① 急激な人口減少が始まっている中、いつまで拡大が続くのだろうか？
- ② 病院情報システム更新支援等業務
- ③ 電子カルテシステムや院内ネットワークの更新により、個々の業務の効率化が図られ待ち時間等の短縮につながる。

富士宮市議会議員 全員にインタビュー

一問一答

- ① 621億円という数字を聞いた時、正直どう思いましたか？
- ② ズバリ！令和8年度の注目事業は？
- ③ どんな事業内容なのか？
(市民生活がどう向上するか？)



村瀬旬

- ① ふるさと納税金額が県下2位。財政調整基金も十分あり本予算は適正である。
- ② 世界遺産のまちづくり推進事業
- ③ 浅間大社正面鳥居前の参道整備の一貫として行う事業である。



諏訪部孝敏

- ① 数字は大きすぎると感じるが、今必要な事業が重なった結果だと思う。
- ② 病院情報システム更新及び病院DX推進事業
- ③ 市立病院の設備更新や電子カルテの導入など、災害が増える時代だからこそ市民の命を守れる体制を整える。



佐野和也

- ① 620億円を超えて歳入は大丈夫なのか。
- ② 高齢者つながり・生きがい創出事業
- ③ 敬老会実施交付金に代わる新たな事業が増えたが、地域と高齢者が今以上にしっかりとつながることができるのか。

議会運営委員会

佐野和也委員長コメント

議会運営委員会では、条例及び条例施行規程の制定や当局からの申し入れ、2月定例会の運営についてと6月定例会の会期予定について協議いたしました。また1月には「開かれた議会」を目指し、令和9年度の（仮）議会改革特別委員会と（仮）広聴広報委員会の設置に向けて、先進地である滋賀県甲賀市と大阪府和泉市に委員会視察に行ってきました。令和8年度は、設置に向けた整備を行っていききたいと思います。



▲甲賀市視察の様子



▲和泉市視察の様子

環境厚生委員会

佐野寿夫委員長コメント

議第12号「富士宮市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について」を審査し、全てのこどもが健やかに成長できる環境を等しく確保するために可決すべきものと決定しました。併せて、議決第2号「地域医療を支える自治体病院の存続に向けた支援施策の実現を求める意見書」を国へ提出しました。また、富士宮市南原太陽光発電所新設事業の現地調査を行い、水路や調整池、排水設備、防火水槽など安全対策を確認しました。



▲富士宮市南原太陽光発電所建設予定地視察の様子



▲調整池 (1.0196ha) と二つの放流管

総務文教委員会

渡辺佳正委員長コメント

1件目「小中学校体育館へのエアコン設置」では、熱中症など健康リスクの軽減、災害時避難所としての機能向上を目的に、令和10年までの3年間、約23億円の総事業費で、計画的に実施していくとのことでした。

2件目「システム標準化（市の20基幹業務データを全国規模のガバメントクラウドに移行し一括管理する形態）」では、人手不足で当初の計画より遅れ、移行後の必要経費の問題、業務効率化のメリットが見えにくいなどの点が指摘されました。



産業都市委員会

小松快造委員長コメント

「富士宮市上下水道事業運営審議会設置条例制定について」の審査を行いました。市側は、審議会設置の際の課題として、料金改定以外に、持続可能な污水处理施設として下水道計画の見直しや区域縮小を行い、下水道で処理できないところは、個別処理による污水处理にて進めていくとの説明がありました。値上げ幅やスケジュールの質疑には、「改定期も含め審議会の中で検討したい」との答弁がありました。採決の結果可決すべきものと決定しました。



▲北山浄水場



▲星山浄化センター（脱有機機）

2月定例会の一般質問用語解説

一般質問(13～22ページ)で赤表記した用語を解説します。

1 法定外目的税

→p15

国が定めた税目以外に、市が独自に設ける税金。用途は条例で定め、目的は限定され、導入については総務大臣の同意が必要。

2 ペDESTリアンデッキ

→p16

駅前などに設置され、一般的に建物接続しており、広場機能を併せ持つ高架の歩行者専用通路。

3 部活動統括コーディネーター

→p18

学校の部活動全体を横断的にまとめ、運営を調整する役割の人。

4 流域変更

→p19

河川の流れる先を人工的に変えること。

5 スキーム

→p19

構成、仕組み、図式、計画。

6 AIオンデマンドタクシー

→p20

一般的に、特定地域内での移動を目的として24時間いつでも予約できる乗合型タクシー。

7 サーキュラーエコノミー

→p20

製品や素材、廃棄物も廃棄することなく、循環させることで資源利用の最大化と環境負荷を最小化すること。

8 災害ボランティアコーディネーター

→p21

災害時、ボランティアの受付、マッチング、安全管理、関係機関との調整役を担う人。被災者に寄り添いながらチームで活動する。

お知らせ!

今月号から議員氏名の右側に、二次元バーコードを設置しました

一般質問が視聴できます。ぜひご利用ください。



なかの けんたろう
中野 健太郎
(明和)

保健福祉
教育



新富士市長誕生！これからの連携は

問 新富士市長誕生を契機とした関係構築について、どのように考えているのか。

市長 富士地区全体の活性化に向けて、協力すべき分野においては積極的に連携し、お互いの市民にとってより良い生活環境の実現につながるよう、良好な関係を築きたい。

問 富士宮市立病院と富士市立中央病院という視点にとどまらず、地域医療を守るという観点から、一歩踏み込んだ連携を生み出していく責任が自治体運営にはあると考えるが、いかがか。

部長 広域の医療連携はかなりの数の会議を続けてきた。さらに密接な連携を強化するには、高齢者介護と医療の連携、在宅医療等、市レベルの政策をしっかりと積み上げた上で広域の会議に発展させていかないと。これから市レベルの

多機関、多職種の積み上げた政策立案を基に広域連携にもっていくことが重要。

どうなってるの？部活動の地域移行・地域展開

問 進捗状況と今後のタイムスケジュールは。

教育長 令和8年度からは7年度に委託している3種目を含め、運動を5団体、文化芸術活動を1団体に業務委託する準備を進めている。13年度を目標に、現在の教員指導から地域クラブ活動による指導へ段階的な移行を想定している。

問 情報発信に努め、ロードマップをきちんと示し、地域で安心して部活動を続けられるよう説明すべきではないか。

教育長 8年度には広報活動の業務をコーディネーターが支援する予定。部活動に関わる様々な立場の方々が安心できるように、積極的な情報発信に努める。





さの かずや
佐野 和也
(明和)

市民



これからの自治会について

問 自治会の加入率について。

部長 自治会加入率は住民基本台帳上の世帯数を分母とし、各自治会から報告いただいた加入世帯数を分子として算出している。



問 2世帯住宅の取り扱いについて。

部長 2世帯住宅の捉え方は自治会によって違う。2世帯を1つとして数えると分母が2、分子が1となり、世帯を別々として数えると分母が2、分子も2となる。

問 転入者の加入率や年代別加入率について。

部長 自治会加入世帯の情報は自治会からの報告に基づいており、加入した世帯が転入者であるか、どの年代の人なのか等の報告はいただいていないため、市では把握していない。



あかいけ ひろもと
赤池 弘源
(明和)

保健福祉



子育てをひとりにしないまちへ

～地域共助の新しいかたち～

問 横浜市泉区では子育て応援マークがある。市内でこのマークをつけた方が増えれば、安心の目印がまちの



「子育て応援マーク」の提案

いたるところで生まれる。このような取組を導入する考えはないか。

部長 ファミリーサポートセンターが、その仕組みとして確立できている。今のところ必要ないと思う。ただ、そのつながりを持たせることを円滑に行う一つの道具としては有効と考えるので、その効果を調査・研究していきたい。

問 役員の成り手不足について。

部長 市から自治会に依頼する業務等の削減を進めており、自治会からの人を選出するのが一番大変で負担であるという声を踏まえ、選出を依頼している各種委員の一部の委員については公募への切り替えや、選出依頼人数の削減、活動内容の軽減等の見直しを行っている。

問 区から選出される各委員や役員の報酬の見直し等は考えているのか。

部長 現時点では予定していないが、社会的情勢変化を反映させることは必要であると考えており適正な報酬額について改めて検討していく。

問 自治会の存続のために目的税の導入を提案するが富士宮市としての考えについて。

部長 特定の行政目的の費用に充てるために独自に要件を定めて課税するもので、導入には誰に、何に対してどれだけ課税するか等の合理的な根拠や、受益と負担の関係性を明確にすることが困難であるため、本税の趣旨に整合するものではないと考えている。

「食のウェルビーイング」の実現と

「しおサポ」事業の推進について

問 減塩サポート店の募集をどのように進めていくのか、業者の方へしっかり届くようなものは何か考えているか。

部長 ホームページ上、新聞の投げ込みだけでなく、例えば、生産者と飲食店が集まるマッチング交流会、食品衛生責任者衛生管理講習会へ出向いてプレゼンをして働きかけるなど啓発に力を入れていく。

問 どのようなことをすれば行動につながると思うか。

部長 おいしさを落とさず、それに代わる何か付加価値を付けるというところを行政側としてPRしていくことが大事だと思う。



減塩に役立つカリウム豊富な食料



さの としお
佐野 寿夫
(公明会)



「ご遺族手続き支援コーナー」の利用状況と業務内容及びさらなる環境整備について

問 開設からの利用者数の推移について。

部長 令和2年度は296人、それ以後も増加を続け、令和6年度は524人、令和7年度は2月末現在で667人と大幅に増加している。

問 手続時間と効率化について。

部長 通常半日程度の時間を要するところを2時間程度で手続を終えることができる。

問 市民課横のリフレッシュルームをご遺族手続き支援コーナーに改装することについて。

部長 改装は難しいが、仮設ではなく適切なスペースを設けていくことを検討していく。

市役所本庁舎正面と北側駐車場脇の池（水景施設）の有効活用について

問 現状認識と維持管理状況について。



つじむら たける
辻村 岳瑠
(明和)



使用済み紙おむつ再資源化について

問 生ごみ対策以上に使用済み紙おむつの再資源化を最優先課題として位置づけるべきと考えるが、市の見解は。



部長 使用済み紙おむつの再資源化を推進している市町村が現れつつあり、国のガイドライン作成、県のリサイクル研究会設置などから、生ごみの分別も検討しつつ、使用済み紙おむつの分別収集・資源化を優先することが効果的と考えており、計画の中間見直しで今よりも一歩踏み込んだ検討を考えていきたい。

問 介護施設等からの事業所先行モデルを導入し、再資源化の具体的な道筋をつけるべきと考えるが、検討状況と今後の方向性は。

部長 介護施設等からの使用済み紙おむつは分別されていることが多く不純物の混入も抑えら

部長 漏水や循環ポンプの故障により令和5年より現在の状態となっている。転落防止対策としてフラワーポットを設置している。

問 活用方針と具体的なアイデアを伺う。

部長 安全性はもとより、多くの課題への対策を考慮し、スペースの検討を重ねていく。



【提案】本庁舎正面と北側駐車場脇の池の芝生化イメージ

障がい者就労選択支援事業の展開について

問 当市の実施状況を伺う。

部長 本市には、現在、就労選択支援事業所が2事業所ある。このうち、1事業所は、この3月に県から指定を受けたばかりである。利用者の累計は、令和8年2月末時点で18人である。御本人の希望や適性、能力に合った就職先や就労支援サービスを選択できるよう、サポートする体制づくりに努めていく。

れるため、再資源化に取り組みやすい。事業所先行モデルも含め、他市等の事例を研究・分析しながら検討していきたい。

意見 中間見直しが単なる振り返りで終わらないよう、使用済み紙おむつの優先度が確認できた。引き続き前向きな取組をお願いする。

法定外目的税^{*1}で描く行政デザインについて

問 本市の観光資源を生かし、宿泊税や環境税といった法定外目的税の導入を本格的に検討すべきではないか。



部長 法定外目的税は、課税の必要性や効果について厳格な検証を要するものであり、安易に導入するものではなく、慎重かつ丁寧に判断していくべきである。

部長 令和8年度から始まる観光基本計画の中で、宿泊税については県が進めている部分を注視しながら研究にあたって進めていく必要がある。

意見 税というのは政策調整の手段という考え方を申し上げたかったわけである。



あしざわ ひでのり
芦澤 秀典
(明和)

企 画
都市整備



白糸の滝周辺の整備事業について

問 白糸の滝の整備を契機にして北部全体のまちづくりをどのように進める計画でいるのか。

部長 人口減少、少子高齢化が進行する中、市街化調整区域における集落環境の維持は、本市にとって大きなテーマとして捉えている。北部地域では、生活サービスの維持・確保が大きな課題となっていることから、集落環境の整備と拠点機能の強化、次世代の移住・定住推進を掲げている。



富士宮市内の畜産農家の現状について

問 畜舎の屋根や外壁の色は、どのような考え方や基準で位置づけられているのか。



うえまつ けんいち
植松 健一
(至誠)

産業振興



中心市街地の整備について

問 駅前通り、神田通り、本町通りの歩道に路面標示サインをもっと設置してはどうか。

部長 現在市街地の主要な曲がり角 23 か所に一体的に統一感を持って設置している。しかし、富士宮駅方面から世界遺産センターや浅間大社へ向うサインは不足しているという声もあることから、より丁寧に案内できるようデザインはそのまま追加を考えていきたい。

問 観光バス駐車場を神田川観光駐車場に集約し、観光客に浅間大社まで歩いてもらうようにできないか。

部長 観光バス駐車場を集約することによる効果として、観光客に町中を歩いていただき滞在時間を延長させることにより消費拡大に繋がる可能性があると考え。しかし、浅間大社の観

部長 本市の景観計画では、富士山をはじめとする豊かな自然景観が損なわれないよう配慮するため、高さ 10 m を超える建築物、または延べ床面積 1000㎡ を超える建築物 (畜舎を含む) については、壁面及び屋根の色彩に関する景観形成基準を定めている。

屋根の色彩は原則としてダークグレーまたは焦げ茶色。壁面は茶系色、ベージュ色、クリーム色、灰色と定められている。

市長 今の決められた色は、家畜の安全を守るためにも、景観的にもよくないと思っているので国や県とも協議し、再検討する方向で指示をしたい。

光バス駐車場は大社自らが設置運営していることから集約化することは大社の意向によるところが大きく現状では難しい。今後浅間大社周辺及び参道の整備計画の中で、大社のご意見を踏まえながら検討して行く事になると考えている。

問 富士宮駅北口出口ペDESTリアンデッキ^{※2}から富士山の方角に向かって景観重点地区の指定及び高度地区の設定を行い、将来的に駅正面から富士山がきれいに見える眺望にしていく事を考えてはどうか。



市長 世界遺産センターから富士山をみると非常にいい景色で感動するが、見ると大きな建物が建っている。これはなんとか移転していただければありがたいと考え今交渉している。駅前の方もこうして見ると建物があり、長い目で見ていつか移転等していただければ駅正面から富士山がはっきりと見えるようになり、ここが本当に富士山のまちだ、富士宮市は素晴らしいと思うようになると思う。そういうまちをつかっていきたいと思っている。



なかがめ きょうへい
仲亀 恭平
(つなぐ)

教 育 民
市 民



不登校への理解と行動を広げる「白書」を創れないか？

問 不登校の小中学生が367人に達している。実態をまとめた富士宮市独自の不登校白書を作るべきではないか。

令和6年度データ

合計 367人

小学校 165人

中学校 202人

約26人に1人が不登校

教育長 当事者への配慮から策定は考えていない。独自の月次分析で現場のニーズを把握し、支援につなげている。

問 塾の講師などの民間を活用した令和型の学びを導入し、学習支援を強化できないか。

教育長 今は心の居場所を求める子どもが多い。まずは不登校対策支援員を増員し、思いに寄り添った支援を心がけている。

問 保護者は不登校支援情報をどう得るのか。

教育長 担当が窓口。

不登校対策支援員、青少年相談センターも対応。

要望 情報の届かぬ保護者に対し、スーパー等生活圏内での積極的な情報発信をお願いする。

高額報酬という甘い言葉で、こどもが知らぬ間に犯罪に加担する「闇バイト」...

犯罪の脅威からこどもを守るために

問 危険性をどう認識しているか。

教育長 重大な犯罪と認識している。

SNSの甘い言葉で犯罪実行犯を募る闇バイトに対し、警察庁が注意喚起している。

問 小中学生に及ぶ闇バイトの危険性は？

部長 中学生逮捕の事例も発生。(県外)個人情報で脅され離脱困難になる恐れがある。



要望 最新の手口をゲームで体験し、危険を察知する能力を養う民間教材の活用を提案する。

教育長 確認する。

部長 絶対に市民が巻き添えになってはいけないと考える。



こまつ かいぞう
小松 快造
(つなぐ)

企 画



人口の推移について

問 ①富士宮市の人口推移について(過去5年)。
②富士宮市におけるこれまでの対策及び成果。
③富士宮市での外国人移動状況の現状について。
④富士宮市における男女別の転出入の現状は。
⑤女性の活躍に関する取組と人口減少社会を前提とした適応策について。

部長 ①令和4年は13万153人、令和5年は12万9250人、令和6年は12万8169人、令和7年は12万6857人、令和8年は12万5771人。
②若者や女性の転出超過は、本市にとっても人口減少における重要課題の一つ。U・I・Jターン者への就労支援の取組として、企業ガイダンスの実施、キャリア教育支援、市内企業への採用力強化・機会創出支援、Uターン者雇用創出奨学金返済補助。移住・定住の促進に向けた取

組として、移住・定住の促進に向けた奨励金、支援金などの支援を行っている。

取組の成果に関して、外国人を含めれば若干の転入超過となっている。日本人のみでは転出超過が続いており十分な成果が得られていない。

若者や女性の転出超過は、社会情勢の変化や個人の意識など複合的な要因が関係している。

非常に重要な課題であると認識している、今後も中長期的な視点に立って施策を推進していく。

③過去3年間における外国人の転出入者数は、1010人で転入超過となっている。

④富士宮市における男女別の転出入の現状は、過去3年間における合計人数は男性393人の転出超過、女性も556人転出超過が現状である。

⑤女性の転出超過は、その自治体が若い世代や女性に選ばれる地域であるかどうかが大きく影響すると考える。第6次富士宮市総合計画では、若者や女性にも選ばれる地域づくりを重点取組の一つとして庁内横断的に展開する。





すずき ひろむ
鈴木 弘
(至誠)

産業振興



富士宮市の観光施策について

問 富士山眺望スポットの整備が望まれる。「富士山眺望展望デッキ構想」を提案する。浅間大社や、白尾山公園に展望デッキを設置したらどうか。

市長 それらの場所は合点がいく場所ではない。いい場所を互いに探していったらどうかと思う。

問 白尾山公園は日本夜景遺産に選定されている。眺望を阻害する木の伐採はできないか。

市長 土地の所有者を確認する。眺望をもう少し広げて眺められるように検討したい。

問 白尾山公園は日本夜景遺産ということでこれまで観光施策に活用したことはあるか。

部長 写真のパネルは設置したが、PRは足りなかったと感じている。

意見 夜景ツアーを企画したらどうかと思う。

問 富士山の伏流水である富士宮市のおいしい水道水を汲める給水スポットの設置は考えられないか。

部長 考えていない。しかし、本市の水資源の魅力について広くPRし、水の都富士宮の魅力発信に努める。



▲木の伐採後の白尾山公園夜景のイメージ

富士地域材（富士ヒノキ）の需要拡大に向けて

問 富士宮市において、非住宅建築物補助事業について検討できないか。

部長 事業効果、財政負担等具体的に把握し、課題について検証した中で前向きに検討する。



うすい ゆきこ
臼井 由紀子
(つなぐ)

教 育 道
水 道



中学校部活動の地域連携地域展開について

問 市内の少年団やクラブチームが土・日曜日小学校の体育館を借りることができるのか。

部長 土・日の昼間は無料で学校長が判断すれば貸し出しすることができる。

問 令和8年度設置される「コーディネーター」とは？

教育長 現段階では「部活動地域連携・地域展開推進協議会」の準備及び運営をコーディネートすること。将来的には部活動統括コーディネーター※³へ移行していく。

問 部活動の位置づけは教育とは別に考えるのか。

教育長 地域展開の段階では、地域全体でこどもを支える生涯スポーツ・



▲協議会運営体制図(案)に対する私の考え方

文化活動という意味が強まると理解している。

浄化槽による環境問題について

問 浄化槽設置の現状について。

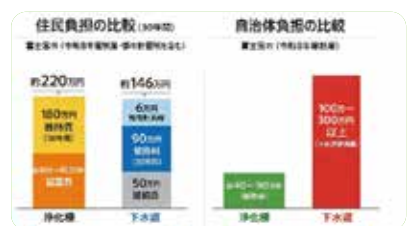
部長 令和6年度の単独処理浄化槽及び汲み取り便槽から合併処理浄化槽へ転換への補助件数は22基。現在合併処理が9572基。単独処理は1万3828基で東部地区で2番目に多い。

問 単独処理浄化槽は公衆衛生上いかがか。

副市長 河川への影響は公衆衛生上問題がある。ぜひ、市の支援も大きく入れてあるので見直していただきたい。

問 30年後の合併処理率と公共下水道の割合をシミュレーションしたが、公平性を考えて法定検査分の5000円の補助はいかがか。

部長 状況は把握できているが、今は合併浄化槽への転換を推進していく。



30年後の負担予想図



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(無会派)



富士宮南原太陽光発電施設事業計画とメガソーラー事業全般について

問 雨水対策について。

部長 本計画に基づく配水計画には支障がないものと判断している。

問 森林審議会でも**流域変更**^{※4}は致し方がない。県の農業会議では雨水対策を万全にという解答が出ている。市として情報共有し、協議したか。

部長 土地利用対策委員会にかけて、問題がなければ承認という手続きをとっている。

問 許可が下りている事と安全とは別問題。この計画で安全だと言い切れるのか。

部長 技術基準に照らして大丈夫。



むらせ ひとし
村瀬 旬
(至誠)



0歳児から2歳児までの保育料を市立保育園私立保育園ともに半額に減額することについて

問 将来の富士宮市を担っていく子どもたちを市全体で育てていく観点から、少しでも保護者の負担を軽減し、就学時以降の教養を身につけるための教育費に充てていただきたいと考え、今の子どもたちや孫が子育て世代になったときのこととも考慮した考えである。

部長 子育て支援は単に現在子育てをされている世代にとどまらず、将来にわたり本市を支えていく子どもたちを市全体で育てていく施策が重要であると認識している。

現在、1子は全額、2子は半額、3子は無償を検討している。



問 消防長は現地確認をしているか。

消防長 その近くまで行っている。

問 そんなことでは困る。住宅団地や小学校とか、生活圏がすぐ隣にあるこの地域に即した対応計画が必要だと思うが。

消防長 それぞれのマニュアルを作っていることはない。防御戦術は職員には周知している。

問 資本金10万円の企業では、転売の可能性が高い。地元の協定書では遵守、努力義務と責任回避の**スキーム**^{※5}。市はこれを確認しているか。

部長 確認している。

問 自治会が背負うには大きい問題。限界がある。行政が介入して調整できないか。

部長 民間事業であり、民民の契約が成立している。行政が入るのは難しい。

問 メガソーラーは誰のための事業か。

部長 地球環境の為。それが富士宮市民のため。

意見 メガソーラーのメリットは何もない。自然を一度壊したら元に戻らない。自然は未来からの預かりもの。私たちの判断にかかっている。

富士宮市の小中学校児童生徒に今ある平和と幸せな日々を送れることに対する平和教育の一環として靖国神社に併設されている遊就館で特攻隊の遺書を拝読する企画について

問 バスを借りて東京までの経費はどれくらいか。

教育長 大体25万円くらいである。

市長 遊就館の見学は難しい事がある。靖国神社は戦犯を合祀しており、神道であり、仏教界の方もあれば、神道の人もいろいろ宗派がある。行くなら後援会で勝手に行けばいい。





わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(超党派虹の会)

市民
産業振興



市南部の蒲原病院線廃止後の状況とA I オンデマンドタクシー※6の実施に向けて

問 増便した宮タクの利用状況は。

部長 チラシや回覧板などで宮タク増便の案内をして、当該地区における宮タク利用者は1カ月で121人増えた。

問 富士急が実証運行しているバスの富士宮駅発着便の増加、星山台・八景台への乗り入れなどについて、富士市と協議したらどうか。

部長 今後、富士市と協議していきたい。

問 A I オンデマンドタクシーの実施に向けた考えは。

部長 交通事業者とA I システム業者を呼んで話をしていきたい。



バス停があると安心

中小事業者の賃上げ支援及び中小企業対策費の大幅増額について

問 国・県の賃上げ支援策の活用状況と市独自の上乗せ助成について。

部長 従業員20人以下の小規模事業者にとって、国・県の賃上げ支援策の活用は困難。市独自の上乗せ助成は考えていない。

問 中小企業等実態調査で賃上げ支援策について調査し、市独自の支援策を考えてはどうか。

部長 令和8年度に市内3000社を対象にアンケートを実施し、その結果を中小企業振興懇話会に報告して、市に求められる支援の方向を考えていきたい。

要望 国全体の中小企業対策費は今年度予算総額122兆円のうち1700億円であまりにも少なすぎる。国の仕事と言わずに、中小企業対策費を増額するよう国に意見を上げていただきたい。



働く人を元気に



さいとう かずふみ
齋藤 和文
(公明会)

環境



サーキュラーエコノミー※7の進捗について

問 最終処分場の現状について。

部長 残余容量は1.27万㎡であり、埋め立て容量全体の12%である。焼却灰は令和6年度以降、全量外部委託処理しており、残スペースは地震などの災害時に使用するため確保している。

問 落じん灰売却の影響と評価について。

部長 令和6年4月より売却を開始して、外部委託していた灰の処分費947万円を削減できた。

問 落じん灰の売却料及びトン数について。

部長 令和6年度実績で227万円、207トンで、ドラム缶で1日4-5本回収している。

問 さらなる焼却灰減少策と焼却灰リサイクル施策について。

部長 ごみの減量化、分別の徹底が減少策である。焼却灰リサイクルについては、焼却灰の資

源化実証事業を行っている事業者から、主灰を選別する技術の提案があり、今後前向きに焼却灰の資源化の取組、情報収集や新たな資源化技術を積極的に調査研究していく。

問 当市の最終処分場の方向性について。

部長 現在の^{くらぼねざわ}鞍骨沢最終処分場の延命化、安定的処分体制の維持のため、外部委託による資源化、災害リスクに備えているため、新たな最終処分場の建設は今のところ考えていない。

意見 近隣市との最終処分場に関して連携を密に協議を行っていただきたい。



出典:経済産業省



やまふじ ようこ
山藤 陽子
(公明会)

保健福祉
総務
市



地域のコミュニティについて（人と人をつなぐ災害ボランティアの活用）

問 災害ボランティアコーディネーター※8の人数、養成講座の開催の予定は。

部長 人数は189人。養成講座開催の予定はない。災害ボランティアについては協力者を増やす必要がある。社会福祉協議会で令和8年度に地域防災を考える講座の開催を計画している。

問 マンパワーを生かし、助け合いができる地域づくりに役立てることはできないか。

市長 個人情報を守らなければならないとはいえ、防災そのものは人の命を守る意味から、県が市に対して名簿を渡さないことはナンセンスな話、市長会を通して県へ言っていく。こうした組織を利用、活用し、地域住民、県下の県民を守っていく方向へ、県に呼びかけていく。



いわむら えみ
岩村 恵美
(つなぐ)

企画
教育
保健福祉



こども計画策定について、誰もが自分らしく生きることができる社会へ

問 全国最多で、特に若い女性の転出が多い現状をどのようにとらえているか。その対策は？

部長 結婚や出産、キャリア形成に対する価値観の変化、女性の就業の機会やキャリア支援が地域において十分でない若い女性は他地域への移動を選択する。重点取組として、就労支援、多様で柔軟な働き方、子育てと仕事の両立支援、キャリア形成の後押し、切れ目のない支援を行っていく。



問 産後ケア事業だが、令和6年度からチケット制になった。約500人の対象者に対して、申請者が218人で、実際には131人の方が使用している。これらを申請したけれど、使用されなかった要因をどのように捉えているのか？

副市長 顔が見える関係、ちょっと無理が言える関係、すごく大事。自治会の事務の削減は本来の機能に注力を注いでもらえるようにということ。まさにこれだと思う。早い時期に、商工会議所に行き、中小企業の皆さんに、地域の力になるということがすごく皆さんにとっても、本人の働くときの力、会社でそれが評価になるといいものである。自助、共助の顔が見える関係づくりということで、働いている世代にぜひということを社長にお願いしたい。働いている世代をたくさん巻き込めるように市民部と一緒にやっていきたい。



市民や市庁舎来訪者の撮影スポットについて

問 周知について。

部長 令和7年度末に庁舎内の看板の修繕で、7階部分に富士山展望ロビーの表記を加える。今後の工夫は休日等に婚姻届を出された際は開庁時間内の別の日に撮影できることを当直窓口で情報提供する。

部長 サービスを供給する側に少し費用面の弱さがあった。単価も含めてしっかりとやっていく。また一方では、周囲の理解がないため、そのサービスを利用しにくい現状がある。そこも改善していかなければならない。

問 こどもたちを信頼して何でもやってみたいと思える土壌をつくるのが教育目標の一つではないかと思うが、いかがが？

部長 やってみたいという思いを大事にする、主体的に、自分で考えて行動できることを求められている。学校、社会、地域、家庭の中で応援していく。今、親や教員が失敗を恐れて挑戦させず、つまづいてしまうと、こども自身がもう立ち上がれないという現状がある。打たれ強いということも、育てていかなければならない。

意見 女性やこどもたちが、自分の気持ちや考えを伝えることの雰囲気あまりできていないのではないかと。こどもたちを信頼して何でもやってみたいと思える土壌をつくるのも教育目標の一つである。



いなば こうじ
稲葉 晃司
(超党派虹の会)

教 育



富士宮市の学校給食の様子について伺う!

問 生産者の皆さんと学校給食の現場を確認させていただき、「児童、教職員の給食を食べる時間が短いのではないか」といった意見があったことについて市当局の見解を伺う。

教育長 生産者の皆様が給食の様子を御覧になり「食べる時間が短いのでは?」といった御意見があったことを教育委員会としてしっかりと受け止め、学校で給食の時間について課題に挙げた際に協議していく。また、食事時間の設定については、児童の成長と健康を第一に考えて栄養教諭と教職員が連携しながら食事時間を含めて最適な環境づくりに努めている。

問 給食の時間を通じて食べることの大切さ、生産者や自然の恵みへの感謝だけでなく、ゆっくりと時間をかけて食べることなどで生活習慣病になりにくい体・体質づくりを行うことは予防医療の観点からも取り組むべきものと考えているが市当局の見解について伺う。

教育長 食べることの大切さ、生産者や自然の恵みへの感謝の心を育むこと、よく噛んで食べることや野菜から食べ始めるなどの食習慣を身に着けることは重要なことと考えている。本市では3名の栄養教諭が配置されており、毎年全ての小中学校を訪問し食育授業を実施している。こどもたちが食に関する正しい知識を身につけ、食べ方や食習慣を自分たちで整える力を育むことで将来的な生活習慣病の予防に繋がると考えている。今後とも食育の推進に努めこどもたちの健やかな成長を支えていく。

児童に人気の
給食メニュー!

①揚げパン



②お米のムース



③海藻サラダ



6月定例会の予定 6月16日(火) ~ 7月1日(水) で開催予定

日	月	火	水	木	金	土
6/14	15	16 開会 議運	17	18 議案 審議	19 総務 文教	20
21	22 環境 厚生	23 産業 都市	24	25	26 一般 質問	27
28	29 一般 質問	30 一般 質問	7/1 一般質問 審議 議会 開	2	3	4

◆定例会開催中以外にも、全員協議会、正副議長・正副委員長会議、会派代表者会議、議会だより編集委員会などが随時開催されています。

◆日程は変更になる場合があるため、間近になりましたら議会事務局にお問い合わせください。

TEL:0544-22-1191

インターネット中継でも視聴できます。ぜひご利用ください。



議員の寄附行為の禁止について

公職選挙法の規定により、議員が不特定多数の市民に年賀状を出すことや、歳暮・年賀などの物を贈る寄附、地域への催し物へ寸志等を出すこと、葬儀へ花輪を出すこと、新盆で香典を出すことは禁止されています。

また、議員に対し、寄附を出すように勧誘する、または要求することも法律で禁止されています。

皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



年賀状



歳暮・年賀



花輪



寸志



新盆

佐野 和彦 議長 コメント

議長は全国市議会議長会をはじめ、東海、静岡県、静岡県東部の4つの市議会議長会に属します。1月27日の静岡州市議会議長会では、令和8年度の副会長に選任されました。また、2月9日の静岡県地方議会議長連絡協議会では、「持続可能な観光地域づくり」についての政策研修会を受講しました。

議長の仕事は、議会運営から式典への参加など様々で、年間約140件の仕事がありますが、本年度も1年富士宮市議会は市民の笑顔のために頑張ります。



▲狩宿さくらまつり



●政務活動費とは

地方自治法の規定に基づき、条例で定められ議会の政策立案能力向上などを図るため、視察調査をはじめ、資料作成・資料購入・研修参加などの活動に活用しています。

当市議会では、1人当たり年額30万円が会派に交付され、年度末に残額は市に返還されます。

令和7年度 会派別 政務活動費の状況

項目	公明会	明 和	富岳会	至 誠	超党派虹の会	つなぐ	無会派 (仲亀)	無会派 (岩村)	無会派 (望月)	無会派 (近藤)
所属議員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(R7.4.1現在)	3	7	3	3	3		1	1	1	
(R7.4.15現在)※①	3	7		3	3	6				
(R7.4.28現在)※③	3	7		3	2	6				1
交付決定額 (A)	円 900,000	円 2,100,000	円 900,000	円 900,000	円 600,000	円 1,800,000	円 300,000	円 300,000	円 300,000	円 300,000
決算額 (B)	413,207	1,549,517	0	190,614	174,945	1,250,020	0	0	0	272,595
差引返納額	486,793	550,483	900,000	709,386	425,055	549,980	300,000	300,000	300,000	27,405
交付額に対する執行率B/A	45.9%	73.8%	0.0%	21.2%	29.2%	69.4%	0.0%	0.0%	0.0%	90.9%

※① 令和7年4月15日、富岳会解散。同日、佐野和彦・臼井由紀子・小松快造・仲亀恭平・岩村恵美・望月芳将でつなぐを結成。

※② 富岳会、無会派(仲亀恭平)、無会派(岩村恵美)、無会派(望月芳将)の返納額180万円がつなぐの交付額となる。

※③ 令和7年4月28日、近藤千鶴が超党派虹の会を脱会し無会派になる。

※④ 超党派虹の会から近藤千鶴が脱会したことに伴い、規則第6条の規定により90万円の交付額を調整。返納額30万円が無会派(近藤千鶴)の交付額となる。

●議長交際費とは

議会の対外的な活動をするため、議長が議会を代表して外部の個人や団体との交際などに要する経費で、社会通念上妥当な範囲で必要最小限の支出に努めています。なお、令和7年度予算額は45万円でした。

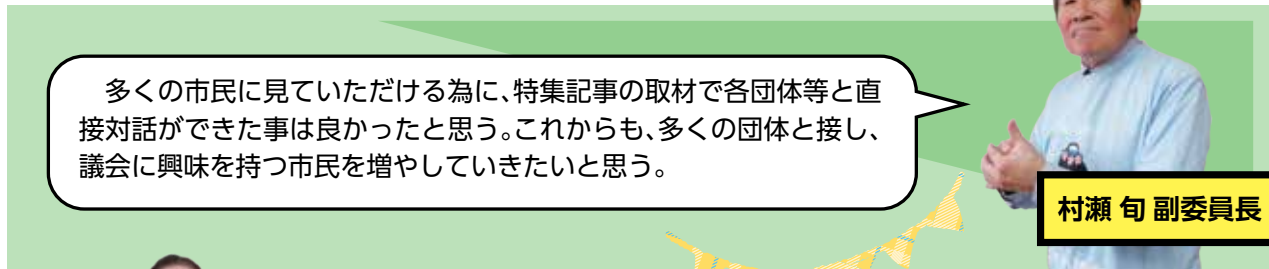
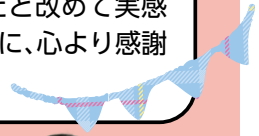
※政務活動費や議長交際費の内容について、詳しく知りたい方はHP等で閲覧できます。





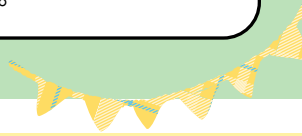
仲亀恭平 委員長

直接インタビューに伺い「広聴」の大切さを実感した一年でした。市民の生の声を聴くことこそが、議会だより制作の原点だと改めて実感しています。取材に快く応じてくださった各団体の皆様に、心より感謝申し上げます。



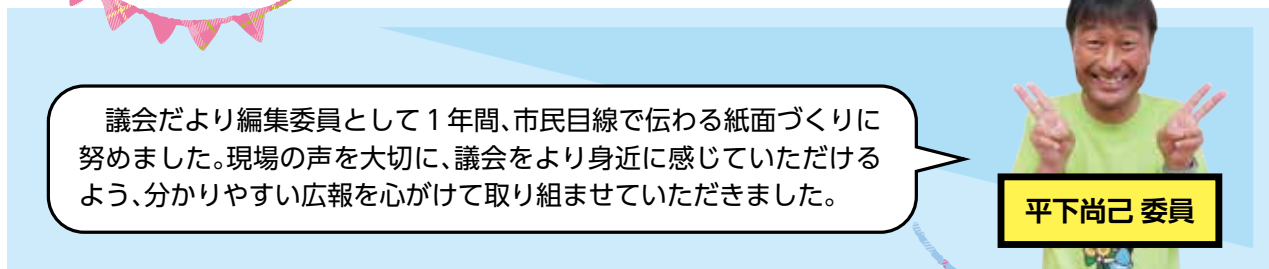
村瀬 旬 副委員長

多くの市民に見ていただける為に、特集記事の取材で各団体等と直接対話できた事は良かったと思う。これからも、多くの団体と接し、議会に興味を持つ市民を増やしていきたいと思う。



近藤千鶴 委員

市民活動にスポットライトを当て、直接声をうかがえたことが何よりの収穫でした。これからも現場の声を大切に、議会だよりへつなげてまいります。お気軽にお声がけしてください。



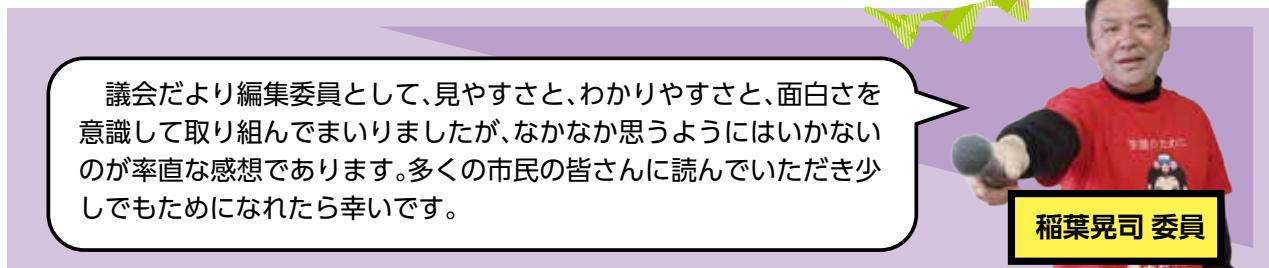
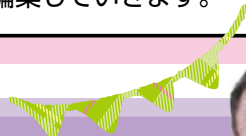
平下尚己 委員

議会だより編集委員として1年間、市民目線で伝わる紙面づくりに努めました。現場の声を大切に、議会をより身近に感じていただけるよう、分かりやすい広報を心がけて取り組ませていただきました。



山藤陽子 委員

「見える」議会だよりを目指し、興味を持っていただけるように委員で時間をかけて議論しています。市民の皆様から「わかりやすくなった」とたくさん声をいただき、ありがとうございます。今後も「市民目線」で編集していきます。



稲葉晃司 委員

議会だより編集委員として、見やすさと、わかりやすさと、面白さを意識して取り組んでまいりましたが、なかなか思うようにはいかないのが率直な感想であります。多くの市民の皆さんに読んでいただき少しでもためになれたら幸いです。

編集後記

(仲亀恭平委員長)

パッと見て内容が伝わるよう写真やイラストを多用し、特集では最大予算621億に対する全議員の想いを掲載。情報をわかりやすく市民の皆様へ届ける工夫を凝らしました。